

Q 1 1 課題を最後までやり通すことが難しいのですが・・・

【考えられる背景】

- 注意集中ができず、課題を続けることが難しい
- 何をすればいいのか分からず課題を遂行できない

【支援への手がかり】

☆ 聞き取りやすい場（環境）を設定する

教室の席は、注意や集中がそれてしまいがちな廊下側や、体育の様子が見える運動場側は避け、指導者がすぐに声をかけやすく、体に触れて注意を喚起しやすい場所にします。

☆ 刺激となるものははずす

注意がそれやすい子どもは、黒板にあるマグネットや指導者の机の上に置いてあるものに興味を引かれ、今やるべきことを忘れてしまうといったことがあります。必要以上に興味関心を示してしまうような掲示物ははずしたり、カーテン等で隠したりするようにします。

☆ 注意集中力を高める

子どもたちは、ゲームが大変好きです。注意集中力を高めることを目標にしたゲームを活用してみましょう。例えば、「鼻・鼻・鼻」というゲームは、リーダーが「鼻・鼻・鼻・〇〇」と言ったら、その他の人は〇〇の部分に触ります。間違えた人は次のリーダーになります。上手くできたら触るところを〇〇以外のところにするなどバージョンアップを図ることも考えられます。このゲームは、注意集中して指示する人の声を聞き、動きを見ることにより楽しめるゲームです。その他にも「何でもバスケット」など楽しみながら聴覚と視覚を使い、注意集中力を高める活動を試みてみましょう。

☆ 適切な課題を設定する

子どもに合った課題、量の設定をします。そして、課題ができたらかードを作成し、シール等で評価します。カードなどを作成し、シールなどで評価をします。できたということを目に見える形で確認することで達成感や意欲へとつなげていくことが大切です。

☆ 課題の途中であることを意識する

課題が途中で終わったときは、途中の作品を出来上がりとして提示するよりも、これから仕上げていく過程であることを見る側にも本人にも意識させることです。そして、指導者とともに休み時間や放課後を活用しながら仕上げていきましょう。また、掲示する作品には『ただ今、製作中です』というようなお知らせをしておきます。いつも途中で終わり、そのままにしておくことは、子ども自身仕上げたという達成感が持てないため、自分に対する自信が育ちにくいことも考えられます。ここまでは仕上げるという目標を決め、そしてそのための支援が必要となります。

